

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN
PROT.N.

DIOCESE OF HIROSHIMA



ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA
DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

12月15日(月)

広島教区のすべての小教区の主任司祭と兄弟姉妹の皆さん

2025年の通常聖年の閉幕、および新たなシノドスの道を開始するミサについて

+ 主の平和

待降節も第三週目に入りました。お元気で主の降誕の準備に励んでおられることと思います。

さて、2025年の通常聖年が、世界の各教区においては、12月28日（バチカンでは2026年1月6日）に閉幕することになっています。これに従って、教区においては12月28日（日）14:00から、カテドラル（世界平和記念聖堂）において、一年間の恵みを感謝して、閉幕ミサをおささげします。同時に、この通常聖年の閉幕ミサが、教区においては、2028年10月にバチカンで開催される「教会総会」に向けての新たなシノドスの道を開始するミサに位置づけられています。

各小教区においてささげる聖家族の主日のミサにおいても、心を合わせて、この二つの意向でお祈りくださるようお願いいたします。そのために当日、もしできましたら、共同祈願の中で以下の2つの意向を加えて、お祈りしていただくと幸いです。

【共同祈願】

- ① 「父である神よ、2025年の通常聖年に、あなたからいただいたすべての恵みに感謝いたします。これからも、神の家に向かう巡礼に多くの人々を招き、ともに歩んで行けますように。」
- ② 「全能の神よ、2028年10月の教会総会に向かって、新たな歩みを始める広島教区を導き支えてください。交わり参加し宣教するあたたかさのある教会を築いて行くことができますように。」

【ミサ献金】

なお、12月28日のミサの献金についてお願いがあります。12月13日（土）に開催された教区の宣教司牧評議会において、クリスマスの助け合いのために、教区全体として当日のミサの献金を、山口県宇部市の長生炭鉱水没事故（1942年2月3日）の犠牲者（183名の約7割が、強制労働の朝鮮半島出身者）の遺骨収集のための基金に寄付することを申し合わせました。11月中旬に広島教区で開催された日韓司教交流会においても、その場所を訪問して祈りをささげ、両国の司教団が支援をすることを申し合わせています。わたしたちも地元の教区として、上述の方法で協力をしたいと思います。

12月28日のミサの献金は、教区全体としての寄付金を取りまとめますので、1月末までに各小教区から教区本部事務局へ、ご送金いただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

広島教区 司教 アレキシオ 白浜 満

+ Alexis Mitsuru Shirahama